

# 連立方程式(4)

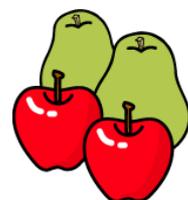
## 連立方程式の利用(1)

### 今日の学習のポイント

- ・連立方程式を利用して、日常生活の場面などでみられる問題を解決してみましょう。
- ・分からない数量が2つある個数や代金などに関する問題について、連立方程式を利用して解決してみましょう。
- ・2けたの自然数などを用いた数についての問題を、連立方程式を利用して解決してみましょう。

### 分からない数量が2つある個数や代金などに関する問題

1個100円のりんごと1個150円の洋なしを合わせて10個買ったら、代金は1200円でした。りんごと洋なしをそれぞれ何個買いましたか。



(1) 求める2つの数量を明らかにして、それぞれを $x$ 、 $y$ の文字を使って表してみましょう。( )に適切な言葉や文字を入れてみましょう。

( )の個数を $x$ 個、  
( )の個数を( )個とする。

(2) 問題文には数量の関係を表した部分が2つあります。その部分を見つけ、連立方程式をつくりましょう。

{ .....個数の関係から  
.....代金の関係から

(3) 連立方程式を解いて、解を求めましょう。

(4) 解が問題に適しているかどうか、確かめてみましょう。

### 練習問題

1個120円のりんごと1個70円のみかんを合わせて12個買い、210円のかごに入れてもらったら代金は1400円となりました。りんごの個数を $x$ 個、みかんの個数を $y$ 個として、連立方程式をつくりなさい。



## 2けたの自然数などを用いた数についての問題

2けたの自然数があります。一の位の数字と十の位の数字を足すと16になります。また、それぞれの位の数字を入れかえてできる数は、もとの数より18小さくなります。

(1) 十の位の数を $x$ 、一の位の数を $y$ とします。最初の2けたの自然数を $x$ と $y$ を使って表してみましょう。

(2) 十の位の数を $x$ 、一の位の数を $y$ として、それぞれの位の数字を入れかえてできる数を $x$ と $y$ を使って表してみましょう。

(3) 十の位の数を $x$ 、一の位の数を $y$ として、連立方程式をつくってみましょう。

(4) 連立方程式を解いて、もとの自然数を求めなさい。



## 練習問題

2けたの自然数があります。一の位の数字と十の位の数字を足すと12になります。また、それぞれの位の数字を入れかえてできる数は、もとの数より54大きくなります。もとの数を求めなさい。

## 連立方程式を利用するときのポイント

### 連立方程式を利用するときのポイント

- ①問題の中の数量の関係を調べ、どの数量を文字を使って表すか決める。
- ②2つの文字を使って連立方程式をつくる。
- ③連立方程式を解く。
- ④解が問題に適しているか、代入などをして確かめる。

